

2023年度秋季卒業式学長告辞（2023年9月25日）

学位記を授与された学部卒業生、大学院修了生の皆さん、広島市立大学を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。また、皆さんのご家族、ご友人、そして指導教員の先生方にもお祝いと感謝を申し上げます。本日、学部卒業生7名、大学院博士前期課程修了生4名、平和学研究科修士課程修了生1名の皆さんを社会に送り出すことができましたことは、大学としても大変、うれしく思います。

学部卒業、大学院修了には大変な努力と研鑽が求められます。本日、卒業、修了された皆さんはそれらに加えて、2020年2月以来の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大学の教育研究環境の制約、国内外の学会等の開催中止など、大変なことも多かったと思います。また、大学院修了生の中には社会人として働きながら修士号を修了された方もおられます。仕事と学業の両立には苦労もあったのではないかと思います。こうした様々な困難を乗り越えて本日の卒業式を迎えられた皆さんのこれまでの努力に改めて敬意を表します。

皆さんは本学での学びと研究を通じて、学問とは何か、研究とは何か、ということを理解されたと思います。皆さんがこれからどんな道を歩むにしても、皆さんが本学で学んだ学問は、きっと皆さんの今後の人生に役立つはずです。これから企業人として会社で働くにしても、大学院に進学しさらに勉学を続けるにしても、本学で学んだ知識と技能を活かして、広く社会の発展に貢献することを期待します。

また、本日、大学院博士前期課程を修了された皆さんの中には、海外から日本に留学されて、本学で学ばれた方もおられます。こうした留学生の皆さんには、ますますグローバル化が進むこれからの時代において国際的に活躍されると共に、皆さんの母国と日本が互いの理解を深め、さらに良い関係を築くことに貢献されることを期待します。

さて、皆様が本学で学ばれていた期間、社会においてはいろいろな出来事がありました。先ほども触れましたが、2019年末に確認された新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界に広がり、20世紀初頭のスペイン風邪以来のパンデミックとなりました。さらに、昨年2月にはロシアによるウクライナ侵攻が起これ、ウクライナ・ロシア双方で50万人に上ると言われる死傷者を出しながら、いまだに戦争終結の見通しが立っていません。コロナ禍とウクライナ侵攻により、世界の分断が急速に進み、世界経済も大きな打撃を受けています。

こうした混沌とした状況に加えて、皆さんの将来にも大きな影響をもたらすと予想される現象が今年に入って全世界で同時多発的に起こりました。それは、生成AIの出現と急速な普及です。米国のベンチャー企業であるオープンAIが昨年11月に公開したChatGPTは、ユーザーが入力した質問に対してまるで人間のように自然な形で回答する対話形式の人工知能ソフトであり、その能力の高さと利用範囲の広さから瞬く間に世界中に普及しました。ChatGPTに代表される生成AIは発展途上の技術であり、今後、さらに進歩し、回答の精度・機能が向上し、利用範囲も拡大することは間違いありません。

大きな可能性を持つ生成AIを人間社会は拒むことはできないと考えます。本日、卒業、修了される皆さんはこれからの人生において生成AIという人間以外の新たな知能と共存することになります。人類の歴史において初めての状況を皆さんは社会と共に経験していくことになります。だとすれば、生成AIとどう向き合うべきなのか。そこで、卒業式のはなむけの言葉として、生成AIに対して私が考えていることを皆さんにお話ししますので、参考にしてもらえればと思います。

はじめに、生成AIはあくまでツールです。それを忘れないことです。生成AIは情報の検索やとりまとめ、あるいはアイデア探しには役立ちますが、それらは膨大なデータの組合せから機械的に生成されるものであって、人間の創造性から生み出されるものではありません。生成AIは人間のアシスタント

ではあっても、人間の代わりにはなりません。生成された情報の価値判断は人間だけが行なえるものです。

次に、生成 AI が生成する情報について、信頼性あるいは人間社会の倫理に留意しなければなりません。例えば ChatGPT は虚偽情報を生成することが知られています。また、生成 AI は倫理観を持たないため、人間社会の倫理やモラルに反するような情報が生成される可能性もあります。

一方で、生成 AI を活用することで新しい可能性が広がります。研究、教育、ビジネス、あるいはクリエイティブな分野で生成 AI を積極的に活用することで、革新的なアイデアを生み出すチャンスがあります。生成 AI は私たちの創造性を刺激し、新たなアプローチを可能にします。ただし、ここでも最終的な価値判断は人間が行うことに留意して下さい。

まとめると、生成 AI と共存するためには、人間の強みを活かすことが重要です。生成 AI は莫大なデータの情報処理や手順に沿って行う仕事を効率的に行えますが、人間の感情、洞察、倫理は生成 AI には代替不可能です。私たちは、人間の価値観や倫理を守りながら生成 AI を使いこなすことで、より快適で持続可能な未来を築くことができます。そのためには、人間だけが持つ能力、例えば創造性、審美眼、倫理観、他人への共感力、コミュニケーション能力等を日頃から磨き続けることがこれまで以上に重要となります。

以上が生成 AI に関する私からのアドバイスです。最後に、皆さんの将来が希望に満ちた明るいものになることを祈念しまして、学長告辞とします。

本日はご卒業、ご修了、まことにおめでとうございます。

2023 年（令和 5 年）9 月 25 日
広島市立大学長
若林 真一